

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-01-14-10
事務事業名	日生最終処分場維持管理事業		
事業開始年度	平成8年度～		
根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
大項目 基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	問合せ先	担当課(室) 環境課
中項目 基本施策	生活しやすいまちづくり	職・氏名	衛生係長・森本和成
小項目 施策	ごみ処理	電話	64-1821

事業の実施	
対象 (誰・何に対して)	一般廃棄物の処理を必要とする、日生地域の市民及び事業者。
目的 (何のために)	焼却灰、処理残渣の埋立処分を適正かつ安全に実施する。
行政活動 (どのような方法で)	施設の維持管理や改修を行う。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	最終処分場の安定的な稼働。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	埋立量(焼却灰・処理残渣)	t	338.0	302.4	322.7
	埋立量(覆土含む)	m ²	568.0	508.0	587.0
	残容量	m ³	9,039.0	8,531.0	7,944.0
	計画埋立量	m ²	15,554.0	15,554.0	15,554.0
	埋立進捗率	%	3.65	3.27	3.77
事業費	直接事業費	千円	10,134	10,126	10,638
	人件費	千円	4,610	2,050	2,225
財源	事業費計	千円	14,744	12,176	12,863
	国県支出金	千円	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0
	市一般財源	千円	0	0	0
	必要人員	人	0.55	0.25	0.27
結果指標	埋立量	説明	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	結果指標量	m ²	568	508	587
	対前年比	%	-	89.4%	115.6%
	活動コスト	円	14,744,000	12,176,000	12,863,000
	単位当たりコスト	円	25,958	23,969	21,913
結果指標	結果指標量	説明			
	対前年比	%	-		
	活動コスト	円			
単位当たりコスト	円				

事業の成果			
成果指標名	埋立量	式又は説明	ごみの減量化を促進し、毎年度埋立量を550m ² に抑え、施設の延命化を図る
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	568	508	587
対前年比		89.44%	115.55%
到達目標値	500m ²	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えて目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>	B
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
行政活動	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	関係法令等に基づき適正な埋立処理及び水処理に努めており、当初計画と比較し、ごみの減量化により埋立残容量にも余裕がある。	
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
市との関与	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	効率的評価<A-E>	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		課題認識
コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	本施設は、平成8年に建設され、委託業者によって適正な水質管理、効率的な施設管理がされている。	
	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
手	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	有効性評価<A-E>	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		課題認識
職	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	水処理施設は老朽化が激しく、耐用年数を経過した設備が多いため、施設の延命のために継続的に維持補修が必要である。	
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識	
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	有効性評価<A-E>	A
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		課題認識
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている	水処理施設は老朽化が激しく、耐用年数を経過した設備が多いため、施設の延命のために継続的に維持補修が必要である。	
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	有効性評価<A-E>	A
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		課題認識
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	水処理施設は老朽化が激しく、耐用年数を経過した設備が多いため、施設の延命のために継続的に維持補修が必要である。	
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	有効性評価<A-E>	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		課題認識
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している	水処理施設は老朽化が激しく、耐用年数を経過した設備が多いため、施設の延命のために継続的に維持補修が必要である。	
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A-E>	A

平成20年度の状況		説明	水処理施設管理業務・水質検査業務等の業務を委託している。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 587	結果指標量	500

総合評価		評価区分<A-E>	B
水処理施設は、薬品処理を行うため設備によっては、耐用年数よりも早く老朽化する傾向があり、設備の各所で不具合が生じている。計画的に補修するとともに抜本的な対策を検討する必要がある。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	施設の計画的な維持補修	毎年	施設維持管理費の削減
有効性	延命化の実施	毎年	快適な生活環境の維持